

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価計画

学校名	唐津市立高峰中学校
1 前年度 評価結果の概要	<p>・学校教育目標「夢を語って、夢を追う児童生徒の育成」～「継続」「挑戦」「進化」～のもと、4校による合同研修や推進会議を実施し、協力・交流の機会や情報の共有を通して、学力向上、キャリア教育、人権・同和教育など、共に研鑽を積んだ。</p> <p>・学力向上については、「唐津の学びスタイル」をもとに、小中連携による研究に添って、単元による学習計画表の活用と授業と連動した家庭学習の工夫に取り組んだ。以前から取り組んでいることを教師間で協議を重ね、学習計画表を活用して単元をひとまとまりにした授業を行っている。今後、「唐津の学びスタイル」の各項目を全職員で吟味し、重点項目を設定し、授業改善に取り組んでいく。</p> <p>・生徒主体のあいさつ運動を実施しており、立ち止まりあいさつに取り組む生徒が増えている。学校行事においても生徒の出番が確保され、自分たちの手で行事を成功させたという達成感を感じさせることができていく。</p> <p>・業務改善については、過度な超過勤務はなく勤務時間についてはほぼ適正であるといえる。ただ、時期的・個人的にみると、取組が十分でないこともあり、より効率よく業務を分担していくことが、来年度へ向けた課題である。</p>
2 学校教育目標	<p>夢を語って夢を追う児童生徒の育成</p> <p>「継続」・「挑戦」・「進化」</p>
3 本年度の重点目標	<p>○中学校区内の学校連携に根ざした校内研究（キャリア教育・学力向上）の推進</p> <p>○分かる授業の構築と確かな学力の育成</p> <p>○児童会・生徒会活動の活性化</p> <p>○業務改善と働き方改革の推進</p>

4 重点取組内容・成果指標				
(1) 共通評価項目				主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師85%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。 ・「唐津の学びスタイル」を共通理解し、個別最適な学びについて、研修を深める。 ・組織を見直し、授業づくり部、基礎学力向上部の2部により、校内研修の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上対策Co(大野) ・研究主任(山口)
	○主体的・対話的で深い学びを実現する授業の実践	○「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した生徒80%以上 ○「文章の意味が分かるようになった」に対して肯定的な回答をする生徒の割合60%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業づくりのステップ1・2・3 Vol.2」を踏まえ、全教科半分以上の授業で「学び合う活動」を設定する。 ・例年行っている協働的な学びについて再認識し、様々な形態により実践に取り組む。 ・授業規律や教室環境を今一度見直し、基礎的な学力の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上対策Co(大野) ・研究主任(山口)
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「友達に対して思いやりある態度で接している」と回答をした生徒80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・人権講演会(人権集会)や道徳に関するアンケートの実施 ・道徳科の授業づくりに関する校内研修等の実施 ・保護者や地域の方と連携した職場体験、産業体験の実施 	道徳教育推進教師(久我) 人権・同和教育担当者(本田)
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対処等)について組織的対応ができていると回答した教員80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの認知・覚知に対する対応マニュアルの作成・見直しを行う。 ・いじめの対応についての研修・会議を年間に2回以上行う。 	生徒指導主事(本田)
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒60%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育目標に向かって、「志、立てて、学んで、夢発見」を合言葉に、生徒が主体的に活動する場を設定したり、自主活動を学校行事に取り入れれたりするなど、承認する場をより多く設定する。 	特別活動担当(伊藤) 生徒会担当(宮崎、伊藤)
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒100% ○朝食をとって登校する生徒90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・生活状況調査、食に関する意識調査の実施 ・保健だよりの発行 ・保健体育科担当と食育担当との連携 ・食に関する全体計画の見直し及び検討 	保健主事(大西・山口) 養護教諭(大西)
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。 ○全職員の時間外勤務時間の平均が4.5時間以内にする。 ○部活動休養日の週2日以上実施の達成率を90%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・定時退勤日の設定 ・学校閉庁日の設定 ・部活動休養日の設定(週2回の休養日) ・業務記録のデジタル化及び簡略化による時間外勤務の適正化 	教頭(千北)
(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	
○キャリア教育	○生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	○「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒60%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアマナー検定の実施 ・スピーチ集会の実施 ・授業等におけるキャリア的資質を高める学習場面の洗い出しと重点化 	総合的な学習の時間担当(宮崎) 特別活動担当(伊藤)
○特別活動の充実	○生徒の主体的活動の活性化	○「生徒会活動を中心に学校生活を充実させるよう努力している」と回答する生徒85%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会による学校行事の実施 ・生徒が主体的に取り組む活動の充実 ・有機的に生徒会本部と連携した専門部活動の充実 	生徒会担当(宮崎、伊藤) 特別活動担当(伊藤)

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育